



大宮小だより

令和5年11月16日
大宮小学校通信 第10号
校長 加藤 真也

【学校教育目標】自ら学び、心豊かで、しなやかに生きる子どもの育成

11月1日(水)、大台警察署や交通安全協会のみなさんのご指導の下、交通安全教室を実施しました。自転車点検のポイント「ブレーキタイヤハンドル車体ベル」を確認した後、運動場に設定されたコースを実際に自転車で試走し、安全走行のための注意点を学びました。この日はとても暖かい一日でしたが、立冬(11月8日)を境に急に気温が下がり、冬の気配を感じるようになりました。

文化祭 ～みんなに見せよう きらめく個性～

11月11日(土)、児童会スローガン「みんなに見せよう きらめく個性」を掲げ、文化祭を行いました。午前には体育館で学年発表。3年生は社会科でマックスバリュ大台店を見学して学んだことを自分たちで撮影した写真を効果的に提示しながら説明しました。1年生は国語科「サラダでげんき」を劇にしました。次々に登場する動物からの提案を動作も交えて表現しました。2年生は国語科「ニャーゴ」を劇化。6匹の子ネズミを食べようとしていた猫のニャーゴの心の変化を「こころのこえ」でうまく伝えていました。打楽器のリズム打ちもがんばりました。4年生は国語科「こわれた千の楽器」の劇と合奏。楽器の特徴をしっかりと描いた衣装をまとい、一度失った自信を取り戻して演奏する楽器たちの姿が素敵でした。5年生は社会科・総合的な学習の時間の「米作り体験」を寸劇と写真で表現。台詞や動作、小道具がとてもユーモアたっぷりでした。6年生は修学旅行で訪れた法隆寺、東大寺、金閣寺、銀閣寺、二条城、清水寺を紹介。3択クイズも取り入れて、参加型の楽しい発表となりました。どの学年の子どもたちもいろいろな工夫をして練習を重ね、緊張の中、平素の学習活動の成果をわかりやすく、そして楽しく他学年や家族・地域のみなさんに伝えることができました。学年発表後の昼食はお家で準備していただいたお弁当。子どもたちは発表をやり終えた達成感と安心感いっぱい表情で、美味しそうにお弁当を頬張っていました。



作品展示はにじの広場で行われ、学年ごとに図画、工作、書写等が展示されました。6年生は家庭科でミシンを使って製作したトートバッグも展示しました。どの作品も子どもたちの個性がきらめいていました。子どもたちは文化祭前日に鑑賞し、お気に入りの作品を鑑賞カードにまとめていました。

午後からの芸術鑑賞では、鈴鹿市を中心に活動しているファースト サンデー オーケストラによるジャズの演奏を聞きました。子どもたちは大音量とジャズの特徴の一つでもある即興(インプロビゼーション)演奏に戸惑いながらも、「茶色の小瓶」や「スターダスト」などジャズのスタンダードナンバーを味わいました。シークレットゲスト? として6年担任の西尾直人先生もトロンボーンを演奏。ソロのスタンドプレーもかっこよかったです。子どもたちとのコラボ企画では、ジャズ風にアレンジされた生演奏で「たんぼぼ」を歌いました。今まであまり知らなかった音楽に触れるよい機会となりました。



今年の文化祭が、大宮小の子どもたちの学びに向かう意欲を一層高めるとともに、様々な文化や芸術に親しむきっかけになることを願っています。

学力の定着をめざして～全国学力・学習状況調査結果公表～

大紀町学力向上推進委員会では、4月18日に全国の小中学校で実施した全国学力・学習状況調査の結果などを分析し、町全体で大紀町の子どもたちの学力の向上に取り組んでいます。以下は大宮小の結果分析と今後の取組についてまとめたもので、今後、町全体や町内各小中学校の調査結果等を町ホームページでも公表します。調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ですが、大宮小の強みや課題、改善のための手立てについて家庭・地域と共有し、さらなる子どもたちの学力の定着を進めてまいります。

大宮小学校の結果分析と今後の取組について

(1)教科に関する調査結果から

① 国語科について

【強み】・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること

- ・日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること

【弱み】・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること

- ・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること

② 算数科について

【強み】・直線の平行や垂直の関係について理解すること

- ・問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすること
- ・データを二つの観点から分類整理する方法を知ること

【弱み】・図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くこと

(2)質問紙調査の結果から

【強み】・早寝、早起き、朝ごはんなど、家庭での基本的な生活習慣が定着している。

- ・地域行事への参加など、地域との繋がりが強い。

【弱み】・読書は好きだが、校外での読書時間が少ない。

- ・平日や休日の学校の授業時間以外の学習時間が少ない。

(3)全体を通して

学習においては、どの学年も概ね落ち着いて授業に取り組む姿が見られ、国語の読み取りや計算の技能など、基礎的な学力が着実に身に付くよう粘り強く指導しているところです。現在、学校では、自分の考えや気持ちを筋道立てて（論理的に）表現できる力をつけることに焦点を当て、低学年から高学年まで、学校全体で授業改善に取り組んでいます。また、学習内容が日常生活に結び付いてこそ本当の力であるということも意識して取り組んでいます。

(4)家庭や地域へのお願い

家庭での生活習慣は安定しています。また、地域との繋がりが強いです。基本的な生活習慣の確立はすべての基盤になります。引き続きよろしくお願ひします。ただ、家庭学習や読書の時間や計画性については、個人差が見られるので、家庭学習・読書の習慣化への取組をお願いします。子どもの成長には、学校・家庭・地域の連携が一番大切です。今後も子どもの成長を真ん中に置いた信頼関係と支援をお願いします。